

◎すべての児童生徒が、多くの授業でタブレット端末を活用して授業に取り組んでいる。

○授業で使用しているアプリの紹介

・「Keynote アプリ」(プレゼンテーションアプリ)

→授業のはじめから終わりまでの流れが収録されており、全児童生徒がどこにいても同じ活動がおこなえる。また、個々に合った提示の仕方ができる。

画像のように、「はじめのあいさつ」や「作り方の動画」など授業の流れを収録し、個々でおこなう際に全員が同じ流れでできるような工夫をして授業を展開している。



視覚優位の児童生徒には一人ひとりの見やすい距離に配慮してタブレット端末の位置を決めたり、聴覚優位の児童生徒であっても光を感じてもらいたい方には音源に近づけつつ画面の角度にも配慮したりと授業に興味を持ってもらえるよう提示方法も工夫している。

評価:授業の流れに加え、作り方の手順を詳しく収録していることで、コミュニケーションがとれる児童が一人で制作活動できるようになった。

・「キラキラ絵描きアプリ」

→腕や指の小さな動きでもタブレットの画面に色を付けることができるアプリ。B課程では、図工・美術の授業でお皿を華やかに彩る際にこのアプリを使用して色や模様をつける。それをスクリーンショットしてファイル交換システムでパソコンにデータを送り、プリントアウトして紙皿に貼って使用した。



評価:指や手のひらで触れることで「キラキラ」と音が鳴る因果関係が理解できている児童生徒は積極的に指や手のひらを動かす様子が見られた。